

絆を深めてとだっ子の学力アップ

—お子さんの家庭での過ごし方を見直しましょう—

お子さんの学力の向上を図ることは、学校の重要な役割の一つですが、お子さんに「自ら学ぶ姿勢」を育てるためには、ご家庭のかかわりや望ましい生活習慣がとても大切です。家庭と学校が連携し絆を深めることで、お子さんの学習意欲の向上、家庭学習の習慣化を図りましょう。

ゲーム、テレビ、携帯電話の利用のルールを決めていますか？

◆ゲームなどに費やす時間によって、学力調査の平均正答率に大きな差が見られます。

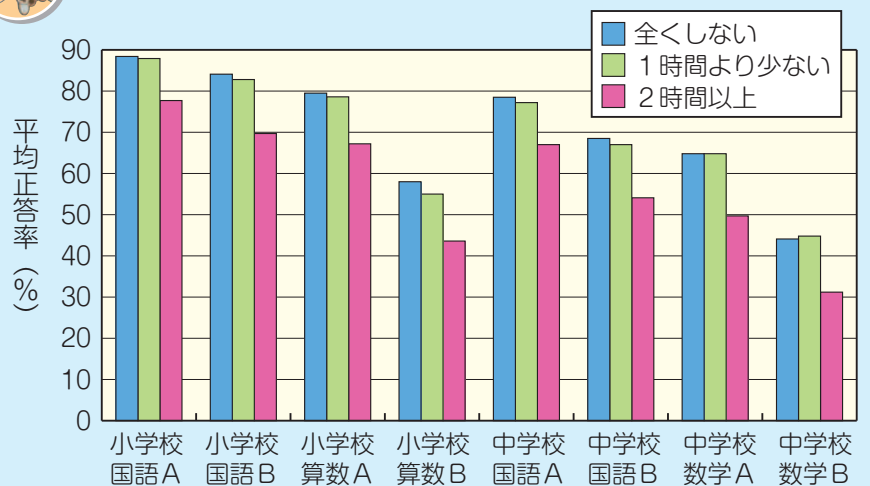
Point!

1日にゲームを「全くしない」または「1時間より少ない」と回答した児童生徒の学力調査の平均正答率は、「2時間以上」ゲームをしていると回答した児童生徒の平均正答率よりも高い結果となっています。

テレビゲームだけではなく、携帯型ゲーム、携帯電話、インターネットなどについての利用のルールを各家庭でしっかりと決める必要があります。



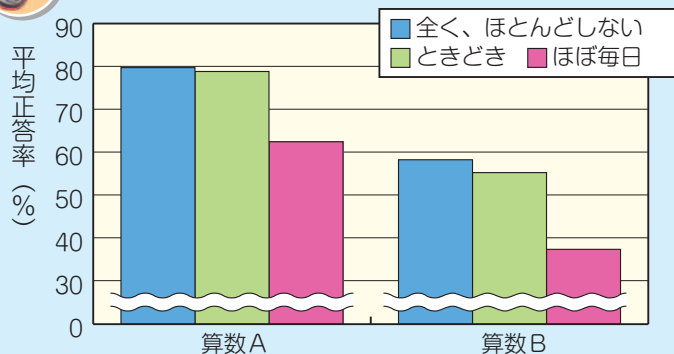
1日にテレビゲームをする時間と平均正答率との関係



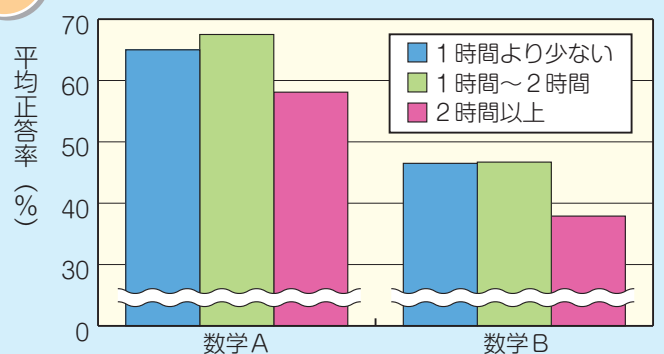
※ A問題：主として「知識」に関する問題 B問題：主として「活用」に関する問題



携帯電話の利用と平均正答率の関係 (小学校)



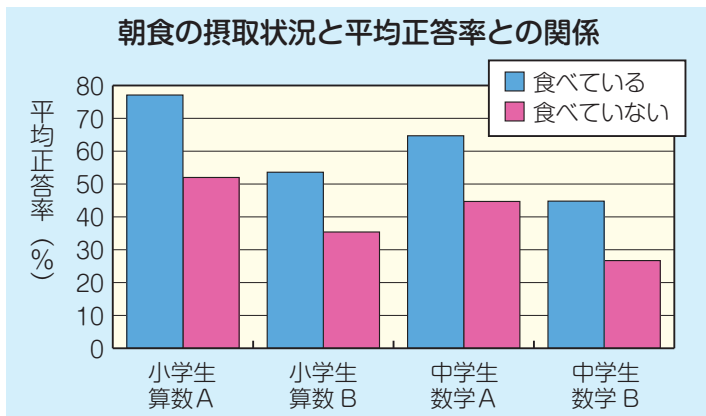
テレビ等の視聴時間と平均正答率の関係 (中学校)



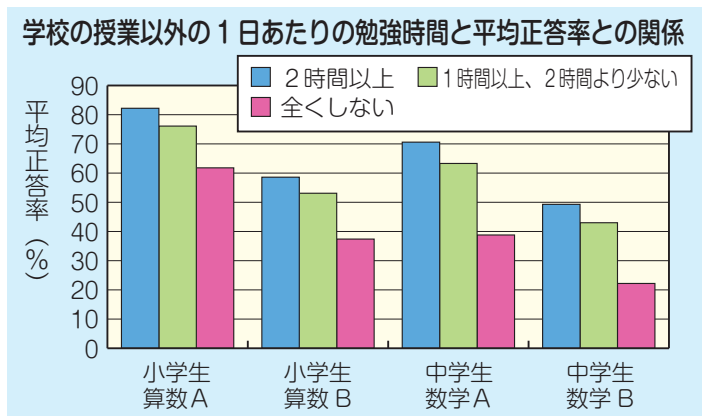
本リーフレットは、平成22年度全国学力・学習状況調査(小6児童、中3生徒対象)及び平成22年度埼玉県小・中学校学習状況調査(小5児童、中2生徒対象)の結果に基づいて作成しています。各調査の結果については、戸田市立教育センターホームページ (<http://www.toda-c.ed.jp/center/index.html>) に掲載しています。

とだっ子のすがた ～正答率が高い傾向にあるお子さんは…～

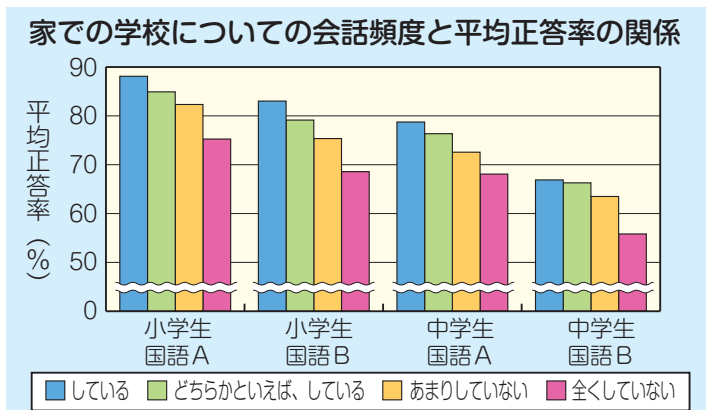
●朝食を毎日食べていると、
正答率が高い傾向にあります。



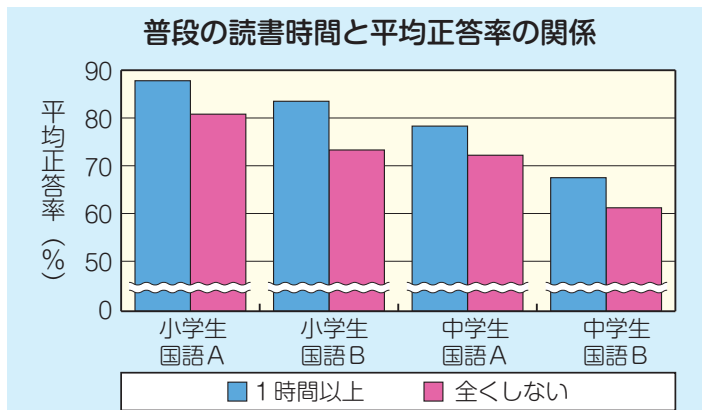
●学校の授業以外の勉強時間が多いと、
正答率が高い傾向にあります。



●家で学校についての会話が多いと、
正答率が高い傾向にあります。



●読書時間が多いと、
正答率が高い傾向にあります。



Point!

朝食をとりながら今日の予定について話をしたり、夕食の時に今日の学校での様子をふり返ったり、お子さんを励ましたりする時間がとれるといいですね。

とだっ子の変化 ～平成20年度との比較～

< 小学校 >

- ◎学校に持って行くものを確認している児童
平成22年度 71% **5ポイントUP** ↑
平成20年度 66%
- ◎家で学校の宿題をしている児童
平成22年度 90% **5ポイントUP** ↑
平成20年度 85%
- ◎家で学校のことについて話をしている児童
※「している」、「どちらかといえばしている」を合算しています。
平成22年度 77% **5ポイントUP** ↑
平成20年度 72%

< 中学校 >

- ◎学校に持って行くものを確認している生徒
平成22年度 62% **2ポイントDOWN** ↓
平成20年度 64%
- ◎家で学校の宿題をしている生徒
平成22年度 45% **5ポイントUP** ↑
平成20年度 40%
- ◎家で学校のことについて話をしている生徒
※「している」、「どちらかといえばしている」を合算しています。
平成22年度 57% **3ポイントUP** ↑
平成20年度 54%

Point!

平成20年度と今年度の児童生徒質問紙の結果を比較すると、着実に改善されていることがわかります。今後もお子さんとのかかわりを大切に、お子さんの学習意欲を高めていきましょう。